

## V. 特記事項

### 1. 地域連携（冠講座）

本学の教育理念の「実学教育」「地域連携」を具現化したものの一つとして、企業・団体・自治体名を科目名に冠した「冠講座」が挙げられる。

平成 13（2001）年に始められた「冠講座」は、大学と地域社会が連携し、静岡県に有為な人材を輩出しようという目的で設置された「寄付講座」である。当初は 4 講座から始められたが、この 20 年間に講座を提供した企業・団体・自治体数は 50 以上にのぼる。

令和 3（2021）年度に開講された「冠講座」は、15 講座である。

冠講座は教育課程表の授業科目として設定されており、ほかの授業科目と同様に、試験等に合格した学生には 1 科目あたり 2 単位が与えられる。一般的な授業科目では、経営学や関連する学問の原理原則についての専門教育等が行われるが、「冠講座」では、実務家教員により、現場に直結した話題が提供され、専門教育を補完する、より具体的、実践的な内容の教育が行われる。

本講座は、一般の市民にも無料で開放されており、地域の生涯教育のニーズに応えるかたちで、大学と地域住民をつなぐ役割も果たしている。

### 2. 大学間連携

本学は、静岡県内すべての高等教育機関が加盟する「公益社団法人ふじのくに地域・大学コンソーシアム」に加盟し、大学間の連携を深め、教育力・研究力の一層の向上を図るとともに、地域社会の発展に寄与することを目的として、各種事業を展開している。

また、このコンソーシアムの枠組みの中に、本学が幹事校となり、「プラットフォーム形成推進委員会」を立ち上げ、大学事務の共同実施、経済 4 団体との連携、リカレント教育、BCP の策定、e-ラーニングシステムの策定についての取組を推進している。

なお、これらの取組は、平成 30（2018）年度～令和 3（2021）年度の 4 年間、文部科学省の私立大学等改革総合支援事業タイプ 3（プラットフォーム型）に選定されており、更なる大学間連携の一助になっている。

### 3. 美術館事業

学生が、一流の芸術に親しむ場を提供するため、静岡市出身の浦田周社版隈六世より、約 400 点におよぶ版画作品の寄贈を受けて、平成 28（2016）年に「浦田周社木版画美術館」を藤枝キャンパス図書館 2 階に開設した。

同美術館では、浦田氏の協力の下、常設展示作品約 40 点を企画展ごとに順次入れ替えを行ない、本学の学生のみならず、地域の多くの方々にも公開してきた。平成 28（2016）年の開館以来、現在までに 11 回の企画展を実施している。令和元（2019）年度までの学外からの入館者数は、3,734 人となっており、月平均 80 人であった。

浦田周社氏が令和元（2019）年 11 月、芸術文化分野で文部科学大臣表彰（地域文化功労者表彰）を受賞したのを記念して、令和 2（2020）年度からは、特別展「輝け富士!」と題して企画展を開催している。しかし、COVID-19 感染拡大により、学外者の入館制限を行っていることから、360 度カメラを駆使し、Web 上で作品を閲覧できるバーチャル美術館を開設し、サービスを展開している。